

せっき 石器について調べよう

「石器」は、石を割ったり、みがいたりして作った道具で、使う目的によってたくさんの種類があります。人間が石器を作るようになったのは200万年以上も前ともいわれ、原始時代の人々の生活にとって、なくてはならない大切な道具でした。

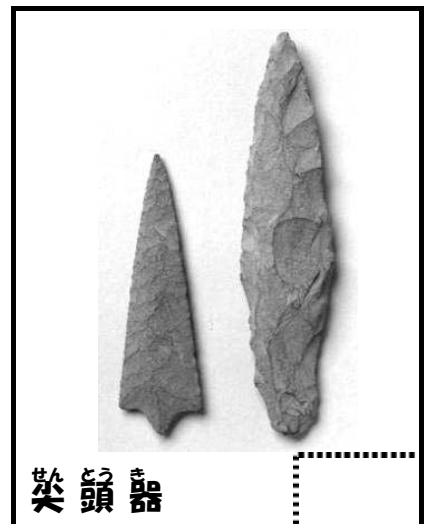
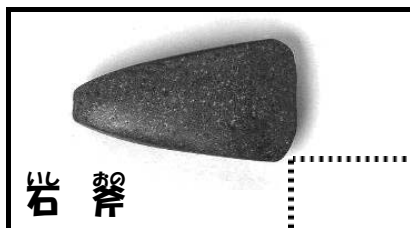
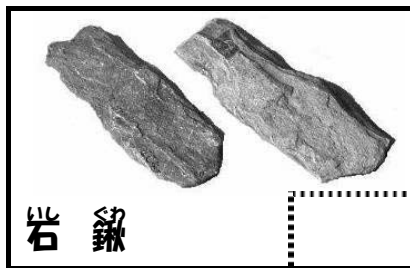
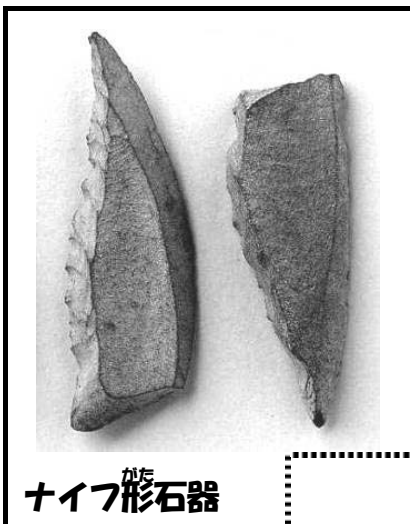
石器について、次の問題に挑戦しよう！

問題1 奈良県で発見された石器で一番古いものは、今から何年ぐらい前のものですか？

問題2 かたくて、するどい割れ方をするので、石器の原石として利用された、香芝市の二上山でとれる石を何と言いますか？

問題3 石では作れない「釣針」などは、何で作ったのでしょうか？

次の石器を「第1展示室」の中でさがして、見つけたものには○を書きましょう。



次の石器はそれぞれ何に使ったのか、どのように使ったのかを考えてみよう。

石 器	何に使ったのか・どのように使ったのか
せき ぞく 石 鎌 	
いしざう 石皿と すりいし 磨石 	[ヒント] 石皿の真ん中のくぼんだところに何がある？
ぎよぶつ 御物石器 	※実は、この石器は学者にとってもまだ十%の道具です。 みなさんで自由に考えてみて下さい。
いしほうちよう 石包丁 	[ヒント] 2つの穴(あな)に、ひもを通して使いました。

はっ てん
 発 展
 現在でも使っている「石で作った道具」にはどんなものがあるでしょうか？

☆石器についてもっと知りたい人は「映像 (ビデオ) ライブラリー」にも行ってみよう！

「時代」 → 「旧石器・縄文・弥生時代」 → 「石器時代の天和」の順番に画面にタッチ